

(表題) 降雹に伴う農作物(タマネギ)被害とその対策について

(担当) 農業技術防除センター 専門技術部

○本県では、県西部・東部・北部山間を中心に、4月14日(月)の午後に降雹がみられました。地域によっては、タマネギ及びレタス圃場の一部で被害がみられています。

○気象庁によると、4月15日も上空に寒気が流れ込んで大気の状態が不安定となっており、15日も落雷や突風、降雹のおそれがあるとのことです。

○このため、降雹に伴う技術対策を下記に示しましたので、業務の参考にしてください。

## I 露地野菜(タマネギ)

### 1. 主な雹害の発生状況

- (1) 収穫間際の圃場において、生育中の葉に損傷がみられる。
- (2) 掘り取り後の圃場において、圃場乾燥中の玉表面の損傷被害がみられる。

### 2. 今後の対策

- (1) 葉の損傷を受けた圃場では、細菌による病害の発生が懸念されるため、予防のための薬剤散布を早急に行う。
- (2) 掘り取り後の圃場では、圃場乾燥中に大きく玉傷が付いた場合は出荷できないが、見た目の傷は小さくても傷付いた可能性のあるタマネギは、早めに収穫し、選別を入念に実施する。



図. 鹿島市七浦干拓における降雹被害圃場(藤津振興センター提供)